



海と共

発行 宮城県漁業協同組合 〒986-0032 石巻市開成1番27 TEL0225(21)5711 FAX0225(21)5640



●七ヶ浜町：松ヶ浜漁港

主な内容

- 宮城県漁協と雄勝湾漁協・矢本漁協が合併
- 宮城県漁協女性部連絡協議会平成21年度通常総会開催
- 共販情報
- 平成21年「いさだ漁業」の操業結果
- 仙台湾の協調操業に係る漁場の使い分けの合意
- 主な一般経過
- 第1回経営管理委員会開催
- 第2回経営管理委員会開催
- 第3回経営管理委員会開催
- 2009年春の勲章受章者が発表
- 主な日程(6月～7月)

宮城県漁協と雄勝湾漁協 ・ 矢本漁協が合併

宮城県漁協は、平成20年度第17回経営管理委員会（2月6日）で承認された雄勝町雄勝湾漁協並びに矢本漁協との合併に関し、合併認可申請をしておりましたが、3月30日に認可書が交付され、4月1日に登記を行い合併が完了致しました。これにより支所数は33となりました。

平成19年4月に31漁協が合併し、宮城県漁協を設立してから、2年間に亘り合併協議をしてまいりました。その結果、昨年の12月に合併未参加4漁協のうち雄勝町雄勝湾漁協並びに矢本漁協が平成21年4月1日を日付とした合併に合意し、4月1日の合併に向けて準備を進めて参りました。

その間、1月22日に合併仮契約を締結し、2月12日に雄勝町雄勝湾漁協が、2月10日には矢本漁協が、それぞれ臨時総会で合併を承認いたしました。

2支所の概要については次のとおりです。

支所概要

区 分	雄勝町雄勝湾支所	矢本支所
職 員 数	7	4
組合員数	330	77
正組合員	(84)	(31)
准組合員	(246)	(46)
出資金額	50,376千円	25,500千円



雄勝町雄勝湾支所

〔雄勝町雄勝湾支所〕

・ 支所運営委員長	阿 部	賢市朗
・ “ 副委員長	伊 藤	浩 光
・ “ 副委員長	末 永	陽 市
・ “ 委 員	末 永	千一郎
・ “ 委 員	阿 部	新 也
・ “ 委 員	阿 部	憲 一
・ “ 委 員	阿 部	悦 朗
・ “ 委 員	佐 藤	雄 二
・ “ 委 員	杉 山	賢 治
・ “ 委 員	遠 藤	誠
・ “ 委 員	鈴 木	晃 喜
・ “ 委 員	秋 山	達 弘
・ 支所長	千 葉	勝 昭

〔矢本支所〕

・ 支所運営委員長	相 澤	勝 利
・ “ 副委員長	三 浦	正 信
・ “ 委 員	阿 部	安 寿
・ “ 委 員	三 浦	一 郎
・ “ 委 員	及 川	輝 明
・ “ 委 員	阿 部	俊
・ “ 委 員	津 田	誠
・ 支所長	鵜 田	勇 一



矢本支所

宮城県漁協女性部連絡協議会 平成21年度通常総会 並びに幹部のつどい開催

去る5月19日(火)～20日(水)、女性部連絡協議会(会長 畠山悦子：気仙沼地区支所大島女性部)は、来賓・会員併せて総勢84名出席のもと、平成21年度通常総会を鳴子観光ホテルにおいて開催いたしました。

始めに、参加者全員による女性部綱領唱和・漁協女性部の歌斉唱を行い、その後、主催者を代表し畠山会長が「女性部の活動を通し、活気あふれる漁村づくり・後継者が育つ環境づくりに貢献していきたい」と開会にあたって挨拶いたしました。

引き続き、長年に亘り漁協女性部員として女性部の発展等に尽力された、七ヶ浜支所の鈴木洋子さんに対し、その功績を称え畠山会長から感謝状と記念品が授与されました。

さらに、当日は来賓を代表し、宮城県・農林中央金庫・宮城県漁協からそれぞれ祝辞が述べられ、漁協を代表して出席した阿部代表理事理事長は「日頃より漁協の組織活動・業務運営さらには、貯蓄推進・ライフジャケット着用推進等に対する協力等に感謝申し上げます。さらに急速に変化する流通社会に対応するためには、女性部員の協力が不可欠であり、その役割は益々重要となってくる」と挨拶いたしました。

その後の議長選任では、仮議長の畠山会長が唐桑支所女性部長の鈴木芳江さんを議長に指名し議事が進められました。

平成21年度通常総会へ提出された議案は、以下のとおりです。

- 第1号議案 平成20年度事業報告並びに収支決算書承認について
- 第2号議案 平成21年度事業計画並びに収支予算書(案)承認について
- 第3号議案 平成21年度会費賦課並びに徴収方法承認について
- 第4号議案 役員選任について

以上が審議され、全て原案どおり可決承認されました。

さらに、役員選任後、暫時の休憩を挟み会長等の互選を諮った結果、下記のとおり決定いた

しましたので組合員皆様にご報告申し上げます。

また、総会終了後は幹部のつどいを開催し、1日目はみやぎ生協産直推進本部、事務局の須崎氏より、現在取組んでいる産直の事業内容報告、翌2日目の幹部のつどいでは、石巻総合支所齋藤支所長より主要水産物である、カキ・ノリ・ワカメ等の水揚げ実績及び流通状況等の報告を受け、いずれも報告の後には意見交換会を開催し、女性部員の意識向上に努めるとともに2日間に亘る予定の全てを終了いたしました。

《 宮城県漁協女性部連絡協議会 役員 》

会 長	畠 山 悦 子 (気仙沼地区支所大島女性部)
副 会 長	江 刺 み ゆ き (石巻地区支所女性部)
副 会 長	鈴 木 ひ ろ ゑ (塩釜市浦戸支所女性部)
監 査 委 員	木 村 艶 子 (表浜支所女性部)
監 査 委 員	蜂 谷 ひ で 子 (松島支所女性部)
委 員	尾 形 里 子 (気仙沼地区松岩女性部)
委 員	小 山 れ え 子 (志津川支所女性部)
委 員	清 水 み や 子 (雄勝町東部支所女性部)
委 員	山 本 ち え 子 (亘理支所女性部)



総会で選任された新役員の方々
(左端：畠山会長)

共 販 情 報

〔乾のり〕

今漁期においては、高水温により採苗開始時期の遅れが危ぶまれましたが、9月20日から屋外採苗作業が開始され、採苗は概ね順調に行われました。

また、育苗時期においても、台風や大雨も少なく順調に推移し、冷凍網入庫は10月上旬から開始され中旬までに終了しました。

しかしながら、秋芽生産は高水温や栄養塩の低下等により色落ちや、赤グサレ病の影響を受け、12月末までの共販数量は1億3千3百万枚の実績となり前年を1億枚下回りました。

幸い、12月下旬より寒気もどり、水温も順調に低下し、栄養塩も回復したことから冷凍網による生産が年明け以降順調に推移し、特に2月中旬以降からは、4千万枚を越える上場が3月中旬まで続き、最終の事業年度における実績は前漁期4月分を含め生産枚数6億2千3百万枚となり、（前年度実績6億3千9百万枚）前年対比97.5パーセントまで回復いたしました。

価格は、漁期を通し本県生産の中心である、業務用として利用される中間品の需要の高まりと、不景気感からくる低価格商品の供給が求められ、下物に対する需要が根強く、初入札以来昨年の平均価格を1円から1円50銭上回る平均価格で推移した結果、共販金額は51億9千2百万円と前年を7億9千万円上回りました。

〔鮮かき〕

20年度のかき生産は、抱卵期における天候不順と海水温の低下などが重なり、抱卵が促進されず県全域で卵持ちかきが多く見受けられたことから、消費者に対し良質な『宮城のかき』を生食用として供給する観点から、昨年より9日遅い10月14日の初入札会開催となりました。

初入札会以降各地ともに生産が順調に進み上場数量が安定したことや天候が温暖であったことから消費が伸び悩み、入札会を重ねるたびに価格が下がったため生産調整を度々行い価格維持に努めましたが、一時的効果は現れたものの生産者が望む価格安定には至りませんでした。

このように価格が低迷した背景には急激な経済情勢の変化に伴う消費者の低価格志向への高まりと消費者の買い控え、更には、広島、岡山

等の生産が好調であったことによる影響があったものと思われます。

この様な中、新たな消費者層の獲得に向けてハウス食品と協力し2008年『美味しく食べよう宮城のかき』を実施し、宮城のかきの美味しさや栄養価値としての新しい食べ方などを提案し、更なる消費の拡大に努めました。

また、宮城県漁協主催による『親子かき養殖体験ツアー』を11月16日と12月16日に県内4会場で開催し、かき養殖生産者並びに支所関係者の協力の下、消費者の親子・量販店担当バイヤーを生産の現場に招き、生産者との交流を通し宮城のかきに対する安全性の取り組みをはじめとする理解の促進を図ると共に、地産地消の推進に努めました。

その結果、参加者から当イベントを通して、宮城のかきの美味しさ・安全への取り組みの真剣さ・価格等に関する理解と納得が得られました。

今後は店頭でも、かきの食べ方に関するアピールをきちんとし欲しいという意見が出されました。

また量販店担当バイヤーからも、今後は、店頭でも生産者とともに、かきの安全性と美味しい食べ方を伝えていただきたいと言う要望が出されました。

この事を、生産の現場にフィードバックする事により、今後の宮城のかきのあり方を模索し始める貴重な一歩としたいと考えます。

又、数年来取組んで来た、かき消費期限の延長については、11月から12月にかけて、生かきの消費期限設定のための保存試験検査を実施した結果、生かきの消費期限を1日間の延長が可能であるとの結果が得られ、平成21年1月10日剥きより、浄化しているかきに限定して消費期限4日間を5日間に変更し、流通の拡大と安全の確保に努めました。

今年度のかきは、身入りがよく1日あたりの全県での生産量が36トンから42トン前後の上場が続き、供給過剰の状態が続いた為に生産調整（剥き時間制限）を長期的に実施し価格維持に努めたことや、入札時期を遅らせたことなどから共販実績は前漁期の4・5月分を含め数量で4,086t、金額40億8千2百万円の取り扱いとなりました。

〔わかめ〕

2008年シーズン後半（4月・5月）の生産状況は『鳴門わかめ産地偽装問題』や『中国産ギョーザ農薬混入事件』により中国産食材へ

の不信感が影響し、『三陸産わかめ』の需要が急速に高まり、買付が加熱する状況となり、品質に比べ異常ともいえるほどの高値での取引となりました。

その結果、生換算生産量7,573トン、金額19億5千3百万円となり、平成20年度実績に繰り入れとなりました。

2009年シーズン（2月・3月）は、種苗の確保・生育が、海況にも恵まれ順調に推移したことから初回入札会（2月5日開催）では主力の塩蔵わかめが111トンの上場数量となり、昨年の第1回入札会の上場数量（32トン）を大幅に上回る結果となりました。

それ以降の生産も、海況、気象条件にも恵まれ、共販数量も順調に推移しました。

価格形成においては、2008年シーズンの『鳴門産わかめ産地偽装問題』等の影響で高騰した価格への反動と急激な経済情勢変動に伴う消費の減退が心配されましたが、消費者の国産品志向の高まりにより買受人の買付意欲も高かったことから比較的安定した価格帯で販売されました。

その結果、20年度共販実績は生換算で数量15,071トン・金額29億2千4百万円となりました。

また、めかぶについても、国産品に対する需要の更なる高まりで共販数量が伸びた点と価格が上昇したことにより7億2千万円の実績となり、前年度を大幅に上回りました。

〔あわび〕

今漁期のあわび価格は中国経済の減速による干鮑での需要の落ち込みと、急激な円高による韓国産鮑（養殖物）の輸入の増大等の影響や、急激な経済情勢の変化による景気後退での消費不振から、共販価格は安くなり、県内共販価格（平均）は11月期で昨年の66%にあたる4,549円の価格となり、12月期においては昨年の75%の4,379円と、前年を下回る価格となりました。

水揚げ状況については、11月・12月と共に時化の日が多く、開口が出来ず、特に12月は時化の日が続き、水揚げ数量（全県）は9,786キロの水揚げとなり過去最低の水揚げとなりました。

このことから、12月入札分（12/8日～15日漁期）について漁期途中に買受人と協議を行い1月31日まで延長し漁獲の増大に努めましたが大幅な漁獲の回復までには至りません

でした。

20年度共販実績は数量で114トン（前年度155トン）で前年度比73.5%、金額5億2千6百万円（前年度9億9千8百万円）で前年度比52.7%となり、前年度に比べ共販金額が大幅に減少しました。

〔ほたて貝〕

ほたて生産は、養殖環境に恵まれて、病害等の死滅も少なく、生育が順調であったことから平成18年度に次ぐ1万2千6百トンの水揚げとなり、前年度を2千トン上回る結果となりました。

宮城県産ホタテは活貝とむき身出荷を主体に流通市場を確保してきましたが、北海道産ホタテの生産が増産傾向にある事と、世界的な景気後退により海外向けホタテ原料が国内販売へシフトし、宮城県産ホタテ活貝の生命線ともいえる活ホタテ貝市場に大量入荷をもたらした価格の低下を招きました。

また、今日の景気後退による消費不況により、量販店、消費者から低価格商品の提供が求められ、養殖コストの低い他県産ホタテへの需要が高まっております。

この様なことから、平成20年度の共販平均価格は1キロ当たり255円となり前年をキロ当たり18円下回りました。

共販金額については数量が2千トン伸びたことから、32億2千万円の実績となり、3億2千万円上回る結果となりました。

宮城県産ホタテ貝の消費拡大を図る目的で20年10月4日（土）地産地消の日に、みやぎ生協5店舗において、ホタテ部会委員の方々の協力の下、販促会に参加いたしました。

販促会では、消費者にホタテの剥き方、食べ方などを提供し、消費の拡大をはかりました。

その結果、みやぎ生協での11月の取扱が前年比600%の実績となり大きな成果が得られ『自店舗催事』の取組みのきっかけにもなり、多くの店での取り組みにまで発展し、みやぎ生協から感謝状が贈呈されました。

又、平成21年3月7日（土）には、みやぎ生協『宮城県産ホタテ20,000枚セール』を部会委員の参加を頂き21,000枚、完売という実績をあげられ販促活動が大きく発展しました。

その他、「みやぎまるごとフェア」への参加、東急ストア販促などに取組み消費の拡大に努めました。

平成20年度 共販品目別取扱実績

1〔乾海苔〕

平成21年4月30日現在

	平成20年度	平成19年度	前年対比(%)
数 量 (枚)	702,979,100	624,712,100	113
金 額 (円)	5,667,836,365	4,379,692,429	129
平均単価 (100枚)	806	701	115

2〔鮮かき〕

平成21年5月20日現在

	気仙沼総合支所			石巻総合支所		
	数量 (kg)	金 額 (円)	平均単価	数量 (kg)	金 額 (円)	平均単価
本年累計	874,264	942,354,476	10,779	2,808,388	2,631,971,290	9,372
前年同期	939,702	1,057,256,906	11,251	2,842,298	3,187,183,790	11,213
前年対比	93 %	89 %	96 %	99 %	83 %	84 %

	塩釜総合支所			合 計		
	数量 (kg)	金 額 (円)	平均単価	数量 (kg)	金 額 (円)	平均単価
本年累計	576,400	590,407,810	10,243	4,259,052	4,164,733,576	9,779
前年同期	524,770	603,250,530	11,496	4,306,770	4,847,691,226	11,256
前年対比	110 %	98 %	89 %	99 %	86 %	87 %

※平均単価は10kg

3〔鮑〕

平成21年3月31日現在

	平成20年度	平成19年度	前年対比(%)
数 量 (kg)	114,210	154,976	74
金 額 (円)	526,338,827	998,120,073	53
平均単価 (kg)	4,609	6,441	72

4〔帆立貝〕

平成21年3月31日現在

	平成20年度	平成19年度	前年対比(%)
数 量 (kg)	12,631,097	10,621,152	119
金 額 (円)	3,221,681,833	2,903,913,371	111
平均単価 (kg)	255	273	93

5〔若 布〕

平成21年4月30日現在

年	干 若 布			塩 蔵 若 布			生 若 布			総共販金額
	数 量	金 額	平均単価	数 量	金 額	平均単価	数 量	金 額	平均単価	
20	35	48,107	13,6728	2,927	2,934,070	10,025	1,723	141,582	822	3,123,759
21	41	53,692	13,104	3,437	2,146,356	6,246	2,283	176,567	773	2,376,615

単位 (数量:t、金額:千円、平均単価:円)

平成21年「いさだ漁業」の操業結果 《宮城県小型漁船漁業部会》

3月16日に初漁となったいさだ漁業は、4月18日の操業をもって終漁となりました。

越年在庫を抱えてのスタートとなった「いさだ漁業」は、初水揚げから30円前後（一部加工用は40円台）の価格で推移していましたが、漁期が終盤に近づくにつれ価格は上昇傾向を辿り、一時は40円台後半（一部加工用は50円台後半）の価格で推移いたしました。

これは、関係漁業者が前向きに取組んだ漁獲枠の削減が大きく影響しており、漁期の短縮が確実となったことを踏まえ、買受人は終漁を見据えた買付へと走り、加工業者に冷凍業者が刺激を受ける形で、活発な買付が行われたものと考えられます。

さらに、漁期当初は常磐地区に「いさだ」の反応が確認されたことから、常磐地区での漁獲も一時は懸念されましたが、結果として漁獲に至らなかったことも、本県を含めた三陸の「いさだ漁業」に好影響を及ぼした1つの要因として考えられます。

一方で、買付された「いさだ」の製品ベースの流通は、現在、活発に販売されている状況にもなく、今後の需要動向等によっては、次年度への越年在庫の発生も懸念されるところであり、景気の上向きによる養殖飼料用・レジャー用での需要に、大きく期待するところであります。

尚、本年の実操業日数は22日であり、前年より約1週間短い実操業日数でありました。

いさだ取扱実績

	数量(kg)	平均単価	金額(円)
船びき網漁	14,892,720	41.1	612,671,685
すくい網漁	42,960	44.1	1,895,110
計	14,935,680	41.1	614,566,795

※平均単価はkg

仙台湾の協調操業に係る 漁場の使い分けの合意 《仙台湾小型漁船漁業部会》

仙台湾における関係漁業種間の協調操業については、関係漁業者間の真摯な話し合いのもと、平成15年より漁場の使い分けを実施しております。

本年におきましては、4月25日に小型底びき網・固定式さし網・せん漁業合同委員会を開催し、前年度の操業状況等を踏まえ協議した結果、本年においても漁具被害の未然防止等に努めることについて合意いたしました。

具体的には、

- ① A ロラン 2 6 0 0 以北の漁場の使い分けを行う区域は全て A 区域・B 区域とする。
(図面のとおり)

- ② 5 月から 1 2 月まで A・B 区域を 2 ヶ月交替で使い分けする。

- ③ 5 月～6 月は A 区域を小底、B 区域を刺網とする。

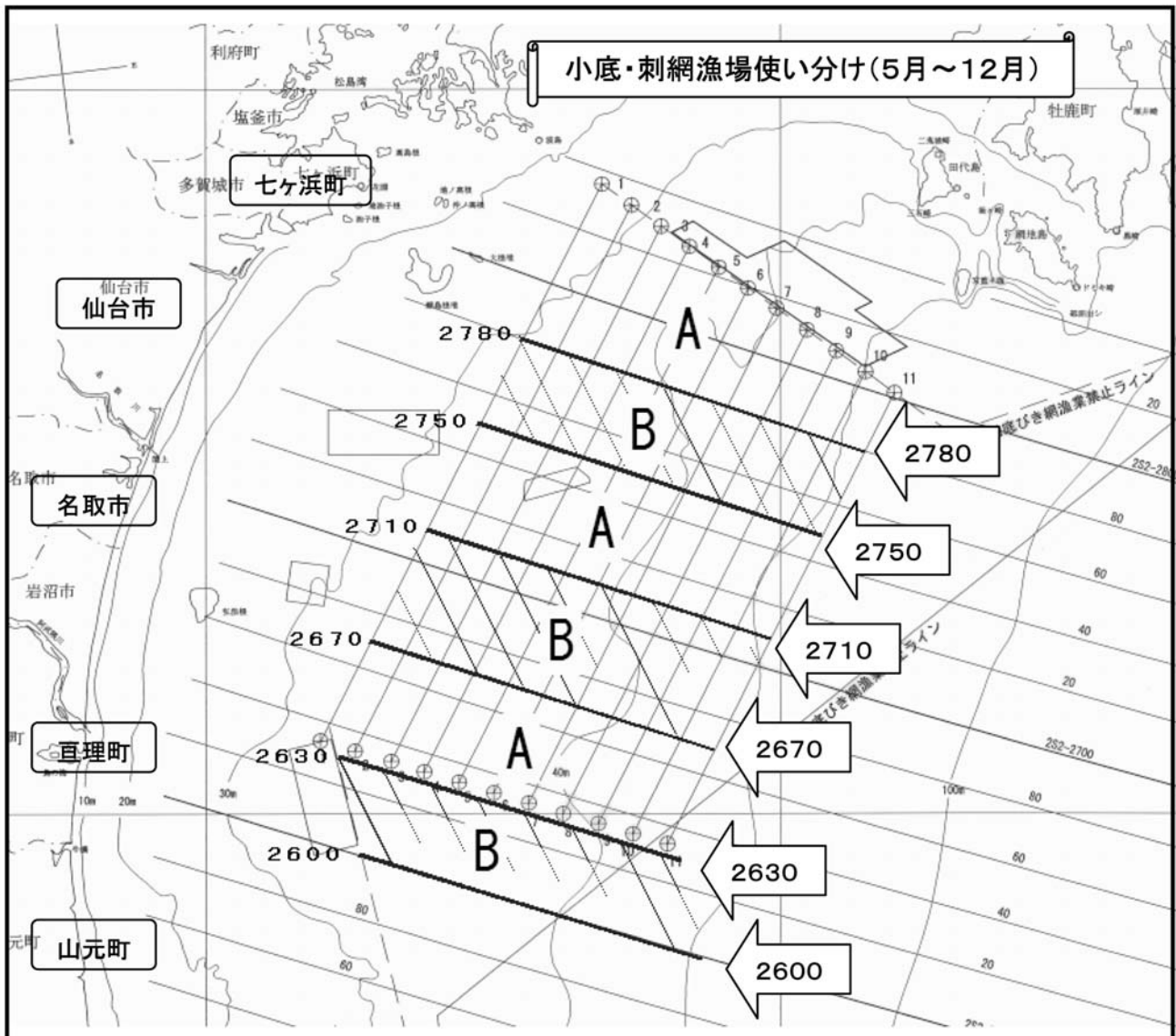
- ④ 1 月から 2 月については、漁期前に再度協議する。

- ⑤ 漁具被害が発生した場合は、当事者間等による連絡により、早急なる解決に努める。

以上の内容等を盛り込んだ合意事項に基づき、秩序ある操業に努めることといたしました。

そのようなことから、仙台湾で操業を図る組合員皆様におきましては、合意内容に留意のうえ、トラブルのない操業に努めていただきますようお願い致します。

(図面)



主な一般経過

- 3 / 25 第7回支所長会議並びに
第4回経理担当者会議
- 26 第7回わかめ入札会
用船事業打合せ〔浦戸東部支所〕
- 27 第18回乾のり入札会 (B-7)
第2回宮城県漁協
七ヶ浜振興センター運営協議会
- 30 合併認可書交付式
- 31 定年退職職員辞令交付
- 4 / 1 辞令交付
- 3 第19回乾のり入札会 (A-8)
第8回わかめ入札会
- 4 志津川支所 J F マリンロード
戸倉 S S オープン記念式典

- 4 / 7 第1回経営管理委員会
- 8 第1回監事会
- 10 第20回乾のり入札会 (B-8)
網地島支所との銀ざけ打合せ
- 11 第9回わかめ入札会
- 14 塩釜市浦戸支所との
信用店舗についての打合せ
- 15 第1回みやぎ水産物強化事業検討委員会
亘理支所・用船事業実施状況検討会
- 16 J F みやぎ女性部 第1回役員会
- 17 第21回乾のり入札会 (合同)
第1回コンプライアンス推進委員会
J F 仙台湾小型漁船漁業部会
宮城・福島実務者会議
- 20 第10回わかめ入札会
- 21 浦戸東部支所・用船事業実施状況検討会

- 4／23 石巻総合支所第4回中部地区
購買事業プロジェクト会議
及び中部地区購買担当者会議
- 24 第1回理事会
第2回監事会
- 27 第22回(最終)乾のり入札会(合同)
- 28 融資事務研修会
- 29 第11回わかめ入札会(最終)
- 30 第2回経営管理委員会

- 5／7 宮城県あわび買受人協会役員との
意見交換会

- 11 第2回理事会
小型漁船漁業部会
第1回ランプ網漁業委員会
- 12 第3回経営管理委員会
- 13 かき関係運営委員長会議
かき加工事業に関する説明会
監事監査～18日
- 14 石巻総合支所かき部会
塩釜総合支所第1回総合支所運営委員会
第2回みやぎ水産物強化事業検討委員会
- 15 仙台湾小型漁船漁業部会
第2回ランプ網漁業部会
塩釜総合支所かき部会
仙台湾小型漁船漁業部会
第2回宮城・福島実務者会議
- 18 余裕金運用会議
閉上のり共同加工施設
建設の県との打合せ
気仙沼総合支所かき部会
- 19 JFみやぎ女性部
平成21年度通常総会
監事監査(鳴瀬支所)
- 20 全漁連 期末監査～23日
- 21 塩釜総合支所
第1回総合支所合同のり部会
- 23 全漁連監査講評
- 25 第4回経営管理委員会

第1回経営管理委員会開催

宮城県漁協は4月7日、本所に於いて平成21年度第1回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告として次の1件が報告されました。

1. 運営委員会委員

続いて議事に移り、次の1議案が提案説明さ

れました。

第1号議案

総代選挙の実施に関する件

第1号議案は、合併に伴う選挙区域の増設と総代定数の増により、総代の補欠(補充)選挙を実施すること及び選挙管理者1名を選任することの承認を求めました。

以上審議され、可決承認されました。

第2回経営管理委員会開催

宮城県漁協は4月30日、本所に於いて平成21年度第2回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告事項として次の6点が報告されました。

1. 一般経過報告
2. 平成20年度第4回内部監査結果報告
3. 共済事業実績報告
4. 余裕金運用状況及び資金繰りリスク管理
5. 融資状況
6. 総代補欠(補充)選挙の結果

続いて議事に移り、次の4議案が提案説明されました。

第1号議案

農林水産省常例検査結果及び宮城県常例検査結果に対する回答に関する件

第2号議案

融資決定に関する件

第3号議案

経理規程一部変更に関する件

第4号議案

100万円以上のリースに関する件

第1号議案は、規程に基づき、農林水産省常例検査結果及び宮城県常例検査結果に対し、「検査結果に対する改善状況報告」を回答することの承認を求めました。第2号議案は、定款に基づき、貸出案件調書(大口貸出先:3億円以上)のとおり貸付することの承認を求めました。第3号議案は、棚卸資産の評価方法が原価法から低価法への適用義務化等に伴い、経理規程の一部を変更することの承認を求めました。第4号議案は、規程に基づき、リース契約を締結することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

第3回経営管理委員会開催

宮城県漁協は5月12日、本所に於いて平成21年度第3回経営管理委員会を開催しました。目的事項に従い会議は進められ、始めに報告として次の3件が報告されました。

1. 平成20年度減損損失測定結果
2. 平成20年度決算期末の資産自己査定結果
3. 漁業権管理委員会委員

続いて議事に移り、次の2議案が提案説明されました。

第1号議案

地区組合員資格審査委員会委員の委嘱に関する件

第2号議案

JFみやぎかき加工販売合同会社設立及び

加工場建設委員会設置規程の制定に関する件

第1号議案は、定款附属書組合員資格審査規程に基づき、雄勝町雄勝湾支所及び矢本支所組合員資格審査委員を委嘱することの承認を求めました。第2号議案は、加工場建設に伴い、「JFみやぎ加工販売合同会社設立及び加工場建設委員会設置規程」を制定することの承認を求めました。

以上審議され、全議案可決承認されました。

6 / 3 (水)	地区別ブロック会議 (北部) 推薦委員選出協議会
6 / 4 (木)	地区別ブロック会議 (中部) 推薦委員選出協議会
6 / 4 (木)	監事会
6 / 8 (月)	役員推薦会議
6 / 11 (木)	第4回理事会
6 / 15 (月)	第6回経営管理委員会
6 / 30 (火)	平成21年度通常総代会 第7回経営管理委員会
7 / 15 (水)	平成21年度第1回臨時総会
7 / 23 (木)	第5回理事会
7 / 31 (金)	第8回経営管理委員会

2009年春の勲章受章者が発表

春の勲章受章者が4月29日付けで発表されました。

伝達式は5月15日(金) 午前10時50分から、東京・霞が関の農林水産省7階講堂で行われ、受章者は午後1時30分から皇居で天皇陛下に拝謁いたしました。

本県水産関係の受章者は、次のとおりです。

〈旭日単光章〉

吉田 昌美 (85歳) 元鹿折漁協組合長

主な日程 (6月～7月)

6 / 1 (月)	第3回理事会 第5回経営管理委員会 第1回支所運営委員長会議
6 / 2 (火)	地区別ブロック会議 (南部) 推薦委員選出協議会



